

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	福井大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	フクイダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	中部地方(愛知県を除く)
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップ(企業派遣実習)
	学部・研究科等名	工学研究科
	担当教職員名・役職	准教授 井上 利弘
	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	2
	受入企業等数	40
受入企業等名	産学官協力会受入企業参考:平成30年1月11日現在 (http://www.hisac.u-fukui.ac.jp/themes/hisac2017/files/pdf/cooperative_2017_1_ichiran.pdf)	
インターンシップの分類	10. 地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.以外の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	対象が工学研究科所属学生のため、当該企業において、主に技術系の業務への従事を依頼している。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 5.当該インターンシップは、選択必修科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	M1年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	3単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	博士前期課程1年生を対象に、夏季休暇期間中の集中教育として実施。本科目では、企業・業務の仕組みや流れを理解し、技術や人材、資金等の資源をどのように経営につなげているかを考える。また、社会での人間関係やコミュニケーション、ルール、マナーなどの基本要件や実践的スキルを学び、これまで学んだ理論や経験との統合を図るとともに、今後の課題に気づき、その後の大学生活に反映できることを目標としている
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している 5.その他
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	事前に、インターンシップ参加希望理由等を記載するレポートの提出を必須要件としている。
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	可能であれば、インターンシップ先での終了報告会に教員も参加できるようにしている。

	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	事前に提出させたレポートをもとに、学生が参加希望する企業と調整の上、インターンシップを実施する。また、参加前に目的意識を高めるための動機づけやビジネスマナーを学ぶこと等を目的としたオリエンテーションを1回実施している
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ報告書をもとに、担当教員と1時間程度面談。面談では、実習中の学びや成長を振り返り、その中で見つけ出した自身の長所・短所や伸ばすべき点などについて話し合うことで自己理解の時間を設けている。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	受入企業で行う終了報告会に参加するなど、企業人事担当者やインターンシップ実施中に学生へ直接指導をしていた上司とのコミュニケーションを図る。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ前に、学生は参加希望理由や事前目標等をレポートに記入の上、担当教員へ提出。インターンシップ後、学生に対して学びや成長、自己評価を調査するための選択式アンケートを実施。また、客観的な評価を得るため、企業に対してもアンケートを実施している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	10日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	稼働日として、10日間以上のインターンシップを行うことを要件としており、主に技術開発等を行う部署での研修を行っている。同じ部署で10日間の研修を実施する企業や、数日に分けて、異なる部署での研修を実施する企業もある。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ受入先企業は本学産学官連携本部協力会員企業であるため、大学との様々な交流関係をもとにインターンシップを実施している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://syllabus1.sao.u-fukui.ac.jp/
問い合わせ先	大学等名	福井大学
	担当部署名	学務部キャリア支援室
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	0776-27-8715
	メールアドレス	g-syusyoku@ad.u-fukui.ac.jp